

「プラっとサーチ」を使い、3R やリニューアブルについて学習

プラっと探検隊による世田谷区立瀬田小学校での出前授業のレポートです。

- 日時：12月18日（水）4校時 11:20～12:05
- 参加：世田谷区立瀬田小学校 4年生のみなさん
（体育館での参加2クラス、オンラインでの参加2クラス）
プラっと探検隊参加者：9名

「わたしたちのくらしとプラスチックパッケージ」をテーマに授業

出前授業の会場となる体育館には、予定していた4年生4クラスのうち2クラスの生徒の皆さんが参加しました。残る2クラスはインフルエンザによる学級閉鎖のためオンラインでの参加です。

あらかじめ商品サンプルやプリントの入った袋を班ごとに配り、出前授業が始まりました。講師はプラっと探検隊の日下さん（日清食品ホールディングス）です。

自己紹介、プラっと探検隊の紹介の後、まず「パッケージ」とは何だろう、というところから入り、日々の暮らしの中でパッケージが果たしている役割（「中身を守る」「便利にする」「情報を伝える」）について、スライドを用いた解説がありました。「プラスチック製のパッケージと環境問題」というスライドで、日本で一年間に捨てられるパッケージは約400万トン、と知った生徒達からは驚きの声が上がリ、「ごみを分別する」「ボトルに詰め替える」といったパッケージごみを減らすために自分でできる行動にうなずいていました。



続いて、企業による環境にやさしいパッケージ開発の取り組みについて紹介がありました。「リデュース・リユース・リサイクルの3Rを知ってる？」という問いかけに、生徒達から口々に「知っていますよ！」と声が上がります。この3Rに、「リニューアブル」（再生可能な材料に変える）を加えた環境にやさしいパッケージの工夫についていくつかの例を学び、誰でも簡単に調べることのできるWEBサイト「プラっとサーチ」が紹介されました。

タブレットを用いて「プラっとサーチ」にアクセス、熱心なグループワークを実施

先生の指示で、生徒達は一斉に自分のタブレットを取り出し、プラっとサーチにアクセスします。そこから班ごとに、

- ・配られた商品サンプル（カップ麺など）を検索して、どんな工夫がされているか配布用紙にチェックを入れる
- ・食べたことがある・好きな商品を探してその環境配慮の工夫をしらべ、気に入ったら「いいね」ボタンを押してみる

・どんな工夫があったか、どんなことを感じたり考えたりしたか、グループで話し合ってみる
といったワークに取り組みました。約15分間のグループワークの間、プラっと探検隊メンバーが各班をまわり、検索のサポートや質問に答えたりしました。

グループワーク後、「発表したいことがある人は？」という問いかけに、多くの生徒が手を上げ、

- ・パッケージの工夫にこれまで気づかなかっただけ
- ・さまざまな工夫があってすごいなと思った
- ・3Rの工夫を知って、自分もリサイクルしたいなと思った
- ・いろいろな会社が取り組んでいることが分かった

といった感想をいただきました。



授業のまとめと質問コーナー

授業時間も終わりに近づき、講師からはまとめとして、

- ・みんなが取り組めること、企業も取り組んでいることを知り、
- ・商品を選ぶ時は環境にやさしい商品を選んでほしい

ことをお願いし、具体的な行動として

- ・プラっとサーチで調べてみる
- ・環境にやさしい商品を選ぶ
- ・おうちの人とも学んだことを話してみる

に取り組んで欲しいこと、さらに、将来、もしよかったらプラっと探検隊の企業に就職し、一緒に環境にやさしいパッケージづくりに取り組んでほしい、と生徒達に伝えました。

その後の質問コーナーでも、活発に手が上がり、「企業では何年くらい前からプラスチックの削減に取り組んでいますか?」「パッケージを開発している時の思いは?」「プラッとサーチは何年前に作られたの?」「バイオプラスチックに使われている植物はどんな植物?」「環境汚染って本当に止められるの?」と次々に質問がありました。最後の質問には、「汚染をなくすのは本当に難しいけれど、みんなで協力しあえば、減らせるし、いつか止めることができると思う」と真摯な思いが講師から伝えられました。

最後に出前授業の感想をアンケート用紙に書いてもらい、出前授業は終了です。生徒の皆さんには本当に熱心な反応をいただきました。先生方からも、「プラッと探検隊の熱意が伝わって、1時間もの長い時間、子どもたちが集中して参加できた」「思った以上にたくさんの大人顔負けの質問をしていた」「来年も是非お願いしたい」との感想をいただきました。

